

## 中国語学中国文学専攻分野科目

授業科目	講義題目	単位	担当教員氏名	曜日・講時	平成30年度以前入学者 読替先授業科目
中国語学中国文学特論Ⅰ	現代中国語の諸相	2	張 佩茹	前期 火曜日 4 講時	中国語学中国文学特論Ⅰ
中国語学中国文学特論Ⅱ	現代中国語の諸相	2	張 佩茹	後期 火曜日 4 講時	中国語学中国文学特論Ⅱ
中国語学中国文学特論Ⅲ	賦とは何か——中国古典文学における声 と文字	2	谷口 洋	後期集中 その他 連講	中国語学中国文学特論Ⅲ
中国語学中国文学史総合演習Ⅰ	中国語学史中国文学史上の諸問題	2	土屋 育子 矢田 尚子	前期 月曜日 4 講時	中国語学中国文学研究演習Ⅰ
中国語学中国文学史総合演習Ⅱ	中国語学史中国文学史上の諸問題	2	土屋 育子 矢田 尚子	後期 月曜日 4 講時	中国語学中国文学研究演習Ⅱ
中国語学中国文学研究演習Ⅰ	楚辞文学研究	2	矢田 尚子	前期 金曜日 2 講時	中国語学中国文学研究演習Ⅰ
中国語学中国文学研究演習Ⅱ	楚辞文学研究	2	矢田 尚子	後期 金曜日 2 講時	中国語学中国文学研究演習Ⅱ
中国語学中国文学研究演習Ⅲ	中国近世文学研究	2	土屋 育子	前期 水曜日 3 講時	中国語学中国文学研究演習Ⅲ
中国語学中国文学研究演習Ⅳ	中国近世文学研究	2	土屋 育子	後期 水曜日 3 講時	中国語学中国文学研究演習Ⅳ
中国語文化論研究演習Ⅰ	現代中国語文法研究	2	張 佩茹	前期 木曜日 2 講時	
中国語文化論研究演習Ⅱ	現代中国語文法研究	2	張 佩茹	後期 木曜日 2 講時	

科目名：中国語学中国文学特論 I / Chinese Language and Literature (Advanced Lecture) I

曜日・講時：前期 火曜日 4 講時

セメスター：1 学期 単位数：2

担当教員：張 佩茹

コード：LM12402 科目ナンバリング：LGH-LIT601E, J 使用言語：2 カ国語以上

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：中国語学中国文学特論 I】

1. 授業題目：現代中国語の諸相
2. Course Title (授業題目)：Various Aspects of Modern Mandarin Chinese
3. 授業の目的と概要：言語学の観点から現代中国語がどういう言語であるかについて知識を深め、基礎的な研究能力の養成を目的とする。中級レベルの学習者向けに書いた文法解説書の内容に基づいて、中国語学における重要な概念や構文への理解を深める。さらに、授業内の発表を通して、中国語学に関する問題意識の置き方や研究手法について学習する。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：This course aims to improve students' understanding of modern Mandarin Chinese from a linguistic perspective and enable them to acquire essential research skills. Based on reading a grammar reference book written for intermediate learners, students learn about the essential concepts and structures in Mandarin Chinese. Also, students learn how to ask a research question and the possible ways of research in Chinese linguistics through practices of oral presentation in class.
5. 学習の到達目標：①中国語学における重要な概念を理解し、説明することができる。  
②中国語学に関する問題点を発掘する力を身につける。  
③関心のあるテーマについて先行研究を調べる力を身につける。
6. Learning Goals (学修の到達目標)：①Students will understand the essential concepts in Chinese linguistics and know how to explain them appropriately.  
②Students will develop the ability to notice possible research questions about Chinese.  
③Students will acquire the ability to search for appropriate reference materials on a particular topic which he/she concerns.
7. 授業の内容・方法と進度予定：  
＜授業内容・方法＞輪読形式で、担当者が関連資料を調べてレジュメを作成し、発表する。  
  
＜進度予定＞  
第1回 ガイダンス  
第2回 語の種類①：品詞を決める基準  
第3回 語の種類②：品詞の兼類  
第4回 名詞  
第5回 量詞  
第6回 代名詞  
第7回 動詞①：動詞の分類  
第8回 動詞②：特殊な動詞  
第9回 形容詞①：性質と状態  
第10回 形容詞②：区別詞  
第11回 フレーズ①：フレーズの種類  
第12回 フレーズ②：様々なフレーズ  
第13回 フレーズ③：連体と連用  
第14回 フレーズ④：連動フレーズ  
第15回 期末まとめ
8. 成績評価方法：  
授業への取り組み：50%  
発表：50%
9. 教科書および参考書：  
＜教科書＞『中級中国語 読みとく文法』三宅登之、白水社、2012 年  
＜参考書＞『文法講義』朱德熙 著、杉村博文・木村英樹 訳、白帝社、1995 年
10. 授業時間外学習：予習：テキストの指定箇所を読んだうえ、問題点を整理する。  
復習：テキストや関連資料を読み返し、正確に理解できたかを確認する。興味関心のある文法現象について考える。
11. 実務・実践的授業/Practical business  
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business  
《実務・実践的授業/Practical business》
12. その他：なし

科目名：中国語学中国文学特論Ⅱ／ Chinese Language and Literature (Advanced Lecture) II

曜日・講時：後期 火曜日 4 講時

セメスター：2 学期 単位数：2

担当教員：張 佩茹

コード：LM22403 科目ナンバリング：LGH-LIT602E, J 使用言語：2 カ国語以上

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：中国語学中国文学特論Ⅱ】

1. 授業題目：現代中国語の諸相
2. Course Title (授業題目)：Various Aspects of Modern Mandarin Chinese
3. 授業の目的と概要：言語学の観点から現代中国語がどのような言語であるかについて知識を深め、基礎的な研究能力の養成を目的とする。中級レベルの学習者向けに書いた文法解説書の内容に基づいて、中国語学における重要な概念や構文への理解を深める。さらに、授業内の発表を通して、中国語学に関する問題意識の置き方や研究手法について学習する。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：This course aims to improve students' understanding of modern Mandarin Chinese from a linguistic perspective and enable them to acquire essential research skills. Based on reading a grammar reference book written for intermediate learners, students learn about the essential concepts and structures in Mandarin Chinese. Also, students learn how to ask a research question and the possible ways of research in Chinese linguistics through practices of oral presentation in class.
5. 学習の到達目標：①中国語学における重要な概念を理解し、説明することができる。  
②中国語学に関する問題点を発掘する力を身につける。  
③関心のあるテーマについて先行研究を調べる力を身につける。
6. Learning Goals (学修の到達目標)：①Students will understand the essential concepts in Chinese linguistics and know how to explain them appropriately.  
②Students will develop the ability to notice possible research questions about Chinese.  
③Students will acquire the ability to search for appropriate reference materials on a particular topic which he/she concerns.
7. 授業の内容・方法と進度予定：  
＜授業内容・方法＞輪読形式で、担当者が関連資料を調べてレジュメを作成し、発表する。  
  
＜進度予定＞  
第1回 ガイダンス  
第2回 結果補語  
第3回 方向補語  
第4回 可能補語  
第5回 様態補語  
第6回 文の分類  
第7回 疑問文、反語文  
第8回 「了」①：アスペクト助詞  
第9回 「了」②：語気助詞  
第10回 「着」、「過」  
第11回 使役構文  
第12回 受身構文  
第13回 「把」構文  
第14回 存現文、取り立て構文  
第15回 期末まとめ
8. 成績評価方法：  
授業への取り組み：50%  
発表：50%
9. 教科書および参考書：  
＜教科書＞『中級中国語 読みとく文法』三宅登之、白水社、2012 年  
＜参考書＞『文法講義』朱德熙 著、杉村博文・木村英樹 訳、白帝社、1995 年
10. 授業時間外学習：予習：テキストの指定箇所を読んだうえ、問題点を整理する。  
復習：テキストや関連資料を読み返し、正確に理解できたかを確認する。興味関心のある文法現象について考える。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness  
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness  
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし

科目名：中国語学中国文学特論Ⅲ／ Chinese Language and Literature (Advanced Lecture) III

曜日・講時：後期集中 その他 連講

セメスター：2 学期 単位数：2

担当教員：谷口 洋

コード：LM98820 科目ナンバリング：LGH-LIT603J 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：中国語学中国文学特論Ⅲ】

1. 授業題目：賦とは何か——中国古典文学における声と文字
2. Course Title (授業題目)：What is Fu?: Voice and Letters in Classical Chinese Literature
3. 授業の目的と概要： 賦は、中国古典文学の文体の一つであるが、韻文を基調としつつも、詩よりずっと自由であり、散文の性質をも併せ持つ。西洋の叙事詩や、万葉の長歌にも比べられるが、古代に普遍的な声の文化の基盤をそれらと共有する一方、漢字の特性を発揮した文字の文学としても展開した。ここでは、賦の文学を俯瞰して、その独自性について理解を深めるとともに、文学における声と文字という普遍的な問題についても考えてみたい。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)： Fu, also called "rhyme prose", is a genre of classical Chinese literature, which has both elements of poem and prose. While it shares the foundation of the universal voice culture of ancient times, it has also developed as a literary form that demonstrates the characteristics of Chinese characters. This course introduces various fu literature so that students can understand its uniqueness, as well as consider the universal issue of voice and letters in literature.
5. 学習の到達目標： 賦の文学にふれ、その特性について知る。  
文学における声と文字の関係について考察を深める。
6. Learning Goals (学修の到達目標)： Students learn about fu literature and its characteristics.  
Students deepen consideration of the relationship between voice and letters in literature.
7. 授業の内容・方法と進度予定：  
以下のようなトピックを考えている。履修者の属性や関心によって、重点の置き方や取りあげる順序を変更することがある。
  - ・ ガイダンス
  - ・ 賦のいろいろ (1)： 屈原「離騷」
  - ・ 賦のいろいろ (2)： 司馬相如「子虚賦」
  - ・ 賦のいろいろ (3)： 陶淵明「帰去来辞」
  - ・ 賦のいろいろ (4)： 蘇軾「赤壁賦」
  - ・ 賦は詩なのか文なのか
  - ・ 賦と叙事詩
  - ・ 賦と長歌
  - ・ 賦の起源に関する諸説
  - ・ 賦と古代呪術：「高きに登りて能く賦す」
  - ・ 賦の文学としての成立：呪術から文学へ
  - ・ 賦の二面性：王権の文学と「私」の文学
  - ・ 賦の二重性：声の文学と文字の文学
  - ・ 文学の枠を超えて：伝承ツールとしての賦
  - ・ まとめ
8. 成績評価方法：  
レポート
9. 教科書および参考書：  
日本語でまとめたものとしては、鈴木虎雄『賦史大要』があるが、古い上に簡略にすぎる。資料は担当者が準備するほか、必要に応じて関連する文献を授業で紹介する。
10. 授業時間外学習： 配付された資料にあらかじめ目を通しておくこと。  
賦は長編が多く、授業ではさわりしか紹介できないから、邦訳のあるものは各自で全体を見ておいてほしい。  
担当を決めて、受講者に調査を求めていることがあるかもしれない。
11. 実務・実践的授業/Practical business  
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business  
《実務・実践的授業/Practical business》
12. その他：なし  
10 月中旬に集中講義を予定しているが、状況がなお流動的であるため、具体的な開講日程と授業形式は追って通知する。いずれにせよ、第 1 回のみはオンデマンド方式で学期始めにあらかじめ配信し、履修登録の参考にってもらうことを考えている。

科目名：中国語学中国文学史総合演習 I / Chinese Language and Literature(Integration Seminar)I

曜日・講時：前期 月曜日 4 講時

semester：1 学期 単位数：2

担当教員：土屋 育子 矢田 尚子

コード：LM11402 科目ナンバリング：LGH-LIT604J 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：中国語学中国文学研究演習 I】

1. 授業題目：中国語学史中国文学史上の諸問題
2. Course Title (授業題目)：Studies of Chinese Language and Literature
3. 授業の目的と概要：【目的】

1. 中国語学の各分野について、理解を深める。
2. 中国文学の各分野について、理解を深める。
3. 研究発表の方法と論文作成の方法を、学ぶ。
4. 教員からの指摘を的確に理解し、解決方法を探索する。
5. 他人の研究発表を的確に理解した上で、自らの質問を過不足なく言語化する方法を、学ぶ。

【概要】

受講生は順番で、自らのもっとも関心のある課題について、その先行研究の整理・問題点の析出・解決のための調査（文献の読解と分析を含む）の過程と結果を、文章化して発表する。発表レジュメは前週金曜正午まで。発表レジュメを受け取った受講生は、三日間でレジュメを吟味・検討する。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：“Gather the techniques that serve your dreams, create techniques to serve your dreams！” by Chick Corea.

In this course, students will acquire specialized knowledge and theories through preparing for their presentations and paying attention to the others' presentations.

5. 学習の到達目標：上記の【目的】の1～5。および 6. 自ら納得のいく、適正な論文の作成。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：1. Acquire specialized knowledge and theories

2. Bring each thesis to perfection

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (1)
2. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (2)
3. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (3)
4. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (4)
5. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (5)
6. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (6)
7. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (7)
8. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (8)
9. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (9)
10. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (10)
11. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (11)
12. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (12)
13. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (13)
14. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (14)
15. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (15)

8. 成績評価方法：

出席と質疑応答 (50%)。

レジュメによるプレゼンテーションと、レジュメ改訂の試みの発表 (50%)。

9. 教科書および参考書：

受講生各自の準備するプリント。

10. 授業時間外学習：発表者は、プレゼンテーションの準備。三日後の改訂稿の準備も含む。発表者以外の受講生は、三日前に提出されるレジュメの吟味と検討。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note：“○”Indicates the practical business

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

科目名：中国語学中国文学史総合演習Ⅱ／ Chinese Language and Literature(Integration Seminar)II

曜日・講時：後期 月曜日 4 講時

semester：2 学期 単位数：2

担当教員：土屋 育子 矢田 尚子

コード：LM21404 科目ナンバリング：LGH-LIT605J 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：中国語学中国文学研究演習Ⅱ】

1. 授業題目：中国語学史中国文学史上の諸問題
2. Course Title (授業題目)：Studies of Chinese Language and Literature
3. 授業の目的と概要：【目的】

1. 中国語学の各分野について、理解を深める。
2. 中国文学の各分野について、理解を深める。
3. 研究発表の方法と論文作成の方法を、学ぶ。
4. 教員からの指摘を的確に理解し、解決方法を探索する。
5. 他人の研究発表を的確に理解した上で、自らの質問を過不足なく言語化する方法を、学ぶ。

【概要】

受講生は輪番で、自らのもっとも関心のある課題について、その先行研究の整理・問題点の析出・解決のための調査（文献の読解と分析を含む）の過程と結果を、文章化して発表する。発表レジュメは前週金曜正午まで。発表レジュメを受け取った受講生は、三日間でレジュメを吟味・検討する。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：“Gather the techniques that serve your dreams, create techniques to serve your dreams！” by Chick Corea.

In this course, students will acquire specialized knowledge and theories through preparing for their presentations and paying attention to the others' presentations.

5. 学習の到達目標：上記の【目的】の1～5。および 6. 自ら納得のいく、適正な論文の作成。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：1. Acquire specialized knowledge and theories

2. Bring each thesis to perfection

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (1)
2. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (2)
3. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (3)
4. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (4)
5. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (5)
6. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (6)
7. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (7)
8. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (8)
9. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (9)
10. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (10)
11. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (11)
12. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (12)
13. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (13)
14. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (14)
15. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (15)

8. 成績評価方法：

出席と質疑応答 (50%)。

レジュメによるプレゼンテーションと、レジュメ改訂の試みの発表 (50%)。

9. 教科書および参考書：

受講生各自の準備するプリント。

10. 授業時間外学習：発表者は、プレゼンテーションの準備。三日後の改訂稿の準備も含む。発表者以外の受講生は、三日前に提出されるレジュメの吟味と検討。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note：“○”Indicates the practical business

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

科目名：中国語学中国文学研究演習 I / Chinese Language and Literature(Advanced Seminar) I

曜日・講時：前期 金曜日 2 講時

セメスター：1 学期 単位数：2

担当教員：矢田 尚子

コード：LM15203 科目ナンバリング：LGH-LIT606E, J 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：中国語学中国文学研究演習 I】

1. 授業題目：楚辞文学研究

2. Course Title (授業題目) : Literary Study of Chu Ci

3. 授業の目的と概要：【目的】古典詩文の基礎的・伝統的な読解方法、テキストの校勘方法など、中国古典文学を研究していく上で必要なスキルを習得することを目的とします。

【概要】中国詩歌文学の源流の一つである韻文学作品集『楚辞』の代表的な作品である「離騷」を読解します。授業は、受講者の発表と質疑応答を中心に進めていきます。担当者は、テキストおよび関係資料を精査してレジュメを作成し、それをもとに口頭で発表をおこないます。担当者以外の受講者は、レジュメや口頭発表の内容について質問・意見を出し、双方の議論を通して、テキストに対する理解を深めていきます。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要) : 【Course Objectives】 This course aims to improve the students' ability to read texts of Chinese classical writings in a basic and traditional way, and to collate texts, which are necessary to study classical Chinese literature.

【Course Synopsis】 Chu Ci is an anthology of Chinese poetry, which is one of the origins of Chinese verse literature. In this course, we interpret Li sao, a representative piece of Chu Ci. The course is centered on students' presentations and question and answer sessions. In every class, presenters are required to prepare handout for the assigned part of the text, and other students are required to ask questions on and to comment on the presentation. Through discussions, students will reach deeper understanding of the text.

5. 学習の到達目標：①中国古典詩文を読む際に必要な基礎的な事柄を理解する。

②わかりやすいレジュメを作成し、内容が的確に伝わるように口頭で説明することができる。

③レジュメや発表の内容を理解して問題点を明確にし、積極的に質問や意見を出すことができる。

6. Learning Goals(学修の到達目標) : ①Students will be able to understand the basic issues necessary to read Chinese classical texts.

②Students will be able to make intelligible handout for their presentations, and to explain the contents precisely.

③Students will be able to clarify problems of handout and presentation, and to ask questions on and to comment on handout and presentation actively.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. ガイダンス

2. 『楚辞』について(1)

3. 『楚辞』について(2)

4. 『楚辞』「離騷」の読解(1)

5. 『楚辞』「離騷」の読解(2)

6. 『楚辞』「離騷」の読解(3)

7. 『楚辞』「離騷」の読解(4)

8. 『楚辞』「離騷」の読解(5)

9. 『楚辞』「離騷」の読解(6)

10. 『楚辞』「離騷」の読解(7)

11. 『楚辞』「離騷」の読解(8)

12. 『楚辞』「離騷」の読解(9)

13. 『楚辞』「離騷」の読解(10)

14. 『楚辞』「離騷」の読解(11)

15. 『楚辞』「離騷」の読解(12)

8. 成績評価方法：

授業参加態度 50%、発表内容 50%

9. 教科書および参考書：

教材は授業開始時に配布する。

Materials will be handed out at the beginning of the course.

10. 授業時間外学習：予習：担当者は、テキストの担当箇所および関連書籍を精査してレジュメを作成するとともに、質疑応答に備えること。担当者以外の受講者は、テキストとレジュメを熟読し、関連書籍にも目を通して、問題点を発見すること。

Preparation:Presenters are required to read the assigned part of the text and materials closely and to prepare handout. Other students are required to read the text, the handout and materials carefully and to find out problems. 復習：担当者は、授業中の議論を通して明確になった点を反映させてレジュメに修正を加えること。担当者以外の受講者は、授業中の議論によって得られた知見を自身の担当時に応用できるように理解を深めておくこと。

Review:Presenters are required to make corrections to the handout by reflecting issues clarified through the discussion in the class. Other students are required to deepen the knowledge obtained through the discussion in

the class, and to be able to apply them to their own presentations.

1 1. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

1 2. その他：なし

科目名：中国語学中国文学研究演習Ⅱ／ Chinese Language and Literature(Advanced Seminar)Ⅱ

曜日・講時：後期 金曜日 2講時

セメスター：2学期 単位数：2

担当教員：矢田 尚子

コード：LM25201 科目ナンバリング：LGH-LIT607E, J 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：中国語学中国文学研究演習Ⅱ】

1. 授業題目：楚辞文学研究

2. Course Title (授業題目)：Literary Study of Chu Ci

3. 授業の目的と概要：【目的】古典詩文の基礎的・伝統的な読解方法、テキストの校勘方法など、中国古典文学を研究していく上で必要なスキルを習得することを目的とします。

【概要】中国詩歌文学の源流の一つである韻文学作品集『楚辞』の代表的な作品である「離騷」を読解します。授業は、受講者の発表と質疑応答を中心に進めていきます。担当者は、テキストおよび関係資料を精査してレジュメを作成し、それをもとに口頭で発表をおこないます。担当者以外の受講者は、レジュメや口頭発表の内容について質問・意見を出し、双方の議論を通して、テキストに対する理解を深めていきます。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：【Course Objectives】This course aims to improve the students' ability to read texts of Chinese classical writings in a basic and traditional way, and to collate texts, which are necessary to study classical Chinese literature.

【Course Synopsis】Chu Ci is an anthology of Chinese poetry, which is one of the origins of Chinese verse literature. In this course, we interpret Li sao, a representative piece of Chu Ci. The course is centered on students' presentations and question and answer sessions. In every class, presenters are required to prepare handout for the assigned part of the text, and other students are required to ask questions on and to comment on the presentation. Through discussions, students will reach deeper understanding of the text.

5. 学習の到達目標：①中国古典詩文を読む際に必要な基礎的な事柄を理解する。

②わかりやすいレジュメを作成し、内容が的確に伝わるように口頭で説明することができる。

③レジュメや発表の内容を理解して問題点を明確にし、積極的に質問や意見を出すことができる。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：①Students will be able to understand the basic issues necessary to read Chinese classical texts.

②Students will be able to make intelligible handout for their presentations, and to explain the contents precisely.

③Students will be able to clarify problems of handout and presentation, and to ask questions on and to comment on handout and presentation actively.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. ガイダンス

2. 『楚辞』について(1)

3. 『楚辞』について(2)

4. 『楚辞』「離騷」の読解(1)

5. 『楚辞』「離騷」の読解(2)

6. 『楚辞』「離騷」の読解(3)

7. 『楚辞』「離騷」の読解(4)

8. 『楚辞』「離騷」の読解(5)

9. 『楚辞』「離騷」の読解(6)

10. 『楚辞』「離騷」の読解(7)

11. 『楚辞』「離騷」の読解(8)

12. 『楚辞』「離騷」の読解(9)

13. 『楚辞』「離騷」の読解(10)

14. 『楚辞』「離騷」の読解(11)

15. 『楚辞』「離騷」の読解(12)

8. 成績評価方法：

授業参加態度 50%、発表内容 50%

9. 教科書および参考書：

教材は授業開始時に配布する。

Materials will be handed out at the beginning of the course.

10. 授業時間外学習：予習：担当者は、テキストの担当箇所および関連書籍を精査してレジュメを作成するとともに、質疑応答に備えること。担当者以外の受講者は、テキストとレジュメを熟読し、関連書籍にも目を通して、問題点を発見すること。

Preparation:Presenters are required to read the assigned part of the text and materials closely and to prepare handout. Other students are required to read the text, the handout and materials carefully and to find out problems. 復習：担当者は、授業中の議論を通して明確になった点を反映させてレジュメに修正を加えること。担当者以外の受講者は、授業中の議論によって得られた知見を自身の担当時に応用できるように理解を深めておくこと。

Review:Presenters are required to make corrections to the handout by reflecting issues clarified through the discussion in the class. Other students are required to deepen the knowledge obtained through the discussion in

the class, and to be able to apply them to their own presentations.

1 1. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

1 2. その他：なし

科目名：中国語学中国文学研究演習Ⅲ／ Chinese Language and Literature(Advanced Seminar)Ⅲ

曜日・講時：前期 水曜日 3講時

Semester：1学期 単位数：2

担当教員：土屋 育子

コード：LM13303 科目ナンバリング：LGH-LIT608E, J 使用言語：2カ国語以上

【平成30年度以前入学者読替先科目名：中国語学中国文学研究演習Ⅲ】

1. 授業題目：中国近世文学研究

2. Course Title (授業題目)：Chinese Classical Literature

3. 授業の目的と概要：本授業では、中国の伝統的な注釈方法に基づいて、中国古典文学の作品を読解します。中国古典文学の作品読解を通して、基礎的な知識を学ぶとともに、原文の読解力と分析し鑑賞する力の習得を目指します。出席者は事前に予習を行うこととし、授業では出席者による発表と質疑応答によって進めます。今学期は、文言小説の『剪灯新話』に収められる作品を取り上げます。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course is designed to help students understand the fundamental knowledge about Chinese classical literature, gain reading ability, analysis ability, through reading Chinese classical literature.

This course is centered on a presentation and a questions and answers session.

In this semester class, students read “Jian Deng Xin Hua”.

5. 学習の到達目標：(1) 中国古典文の読解力を向上させる。  
(2) 中国の文学作品について、分析し鑑賞する力を習得する。  
(3) 辞書やデータベース等の活用と、原典（影印本・標点本等）に習熟する。  
(4) 歴史的背景を踏まえ、中国の文学作品がどのように変化してきたかを理解する。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：1. Students improve Chinese classical Literature reading skill.

2. Students gain the perspective needed to analyze Chinese classical Literature.  
3. Students gain the skills of using dictionaries, databases and original books and so on.  
4. Students understand changes Chinese classical literature has undergone, based on historical background.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

内容及び進度予定は以下のとおりです。

1. インTRODakション
2. 作者と作品について
3. 発表と質疑応答 (1)
4. 発表と質疑応答 (2)
5. 発表と質疑応答 (3)
6. 発表と質疑応答 (4)
7. 発表と質疑応答 (5)
8. 発表と質疑応答 (6)
9. 発表と質疑応答 (7)
10. 発表と質疑応答 (8)
11. 発表と質疑応答 (9)
12. 発表と質疑応答 (10)
13. 発表と質疑応答 (11)
14. 発表と質疑応答 (12)
15. 発表と質疑応答 (13)

8. 成績評価方法：

授業への取り組み：50%

発表（資料作成を含む）：50%

9. 教科書および参考書：

テキスト・資料等は、Google Classroom より配布予定。

参考文献等は授業中に指示。

10. 授業時間外学習：辞書を用いて、予習・復習をしてください。

原文の語彙について語釈を調べるだけでなく、前後の文脈も踏まえた丁寧な読解をこころがけましょう。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:“○”Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

科目名：中国語学中国文学研究演習Ⅳ／ Chinese Language and Literature(Advanced Seminar)Ⅳ

曜日・講時：後期 水曜日 3講時

Semester：2学期 単位数：2

担当教員：土屋 育子

コード：LM23303 科目ナンバリング：LGH-LIT609E, J 使用言語：2カ国語以上

【平成30年度以前入学者読替先科目名：中国語学中国文学研究演習Ⅳ】

1. 授業題目：中国近世文学研究

2. Course Title (授業題目)：Chinese Classical Literature

3. 授業の目的と概要：本授業では、中国の伝統的な注釈方法に基づいて、中国古典文学の作品を読解します。中国古典文学の作品読解を通して、基礎的な知識を学ぶとともに、原文の読解力と分析し鑑賞する力の習得を目指します。出席者は事前に予習を行うこととし、授業では出席者による発表と質疑応答によって進めます。今学期は、文言小説の『聊齋志異』に収められる作品を取り上げます。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course is designed to help students understand the fundamental knowledge about Chinese classical literature, gain reading ability, analysis ability, through reading Chinese classical literature.

This course is centered on a presentation and a questions and answers session.

In this semester class, students read “Liao Zhai Zhi Yi”.

5. 学習の到達目標：(1) 中国古典文の読解力を向上させる。  
(2) 中国の文学作品について、分析し鑑賞する力を習得する。  
(3) 辞書やデータベース等の活用と、原典（影印本・標点本等）に習熟する。  
(4) 歴史的背景を踏まえ、中国の文学作品がどのように変化したかを理解する。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：1. Students improve Chinese classical Literature reading skill.

2. Students gain the perspective needed to analyze Chinese classical Literature.  
3. Students gain the skills of using dictionaries, databases and original books and so on.  
4. Students understand changes Chinese classical literature has undergone, based on historical background.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

内容及び進度予定は以下のとおりです。

1. インTRODakション
2. 作者と作品について
3. 発表と質疑応答 (1)
4. 発表と質疑応答 (2)
5. 発表と質疑応答 (3)
6. 発表と質疑応答 (4)
7. 発表と質疑応答 (5)
8. 発表と質疑応答 (6)
9. 発表と質疑応答 (7)
10. 発表と質疑応答 (8)
11. 発表と質疑応答 (9)
12. 発表と質疑応答 (10)
13. 発表と質疑応答 (11)
14. 発表と質疑応答 (12)
15. 発表と質疑応答 (13)

8. 成績評価方法：

授業への取り組み：50%

発表（資料作成を含む）：50%

9. 教科書および参考書：

テキスト・資料等は、Google Classroom より配布予定。

参考文献等は授業中に指示。

10. 授業時間外学習：辞書を用いて、予習・復習をしてください。

原文の語彙について語釈を調べるだけでなく、前後の文脈も踏まえた丁寧な読解をこころがけましょう。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:“○”Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

科目名：中国語文化論研究演習Ⅰ／

曜日・講時：前期 木曜日 2講時

Semester：3 単位数：2

担当教員：張 佩茹

コード：LM14203 科目ナンバリング：LGH-PHI617J 使用言語：2カ国語以上

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：現代中国語文法研究

2. Course Title (授業題目)：Modern Mandarin Chinese Linguistics

3. 授業の目的と概要：中国語で書かれた現代中国語文法を扱った論文を精読し、中国語を読む能力と現代中国語に関する文法問題を考える能力の養成を目的とする。本年度は主にフレーズと意味の関係について論文を読み、理解を深める。また、論文に関連する文法現象のなかで、受講生が各自テーマを絞って発表し、最後にレポートとしてまとめる。全体を通して、現代中国語文法に関する知識を深め、基本的な研究手法を習得する。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：This course aims to improve students' ability in reading Chinese and approaching linguistic research questions about modern Mandarin Chinese. We will be reading journal articles on the relationship of phrase and meaning mainly this academic year. Also, students are required to find a certain topic related to the articles we read in class, prepare an oral presentation on this topic and write a report accordingly in the end of the semester. In the end of this course, students will gain knowledge about modern Chinese linguistics and learn how to apply basic research techniques when writing a report.

5. 学習の到達目標：①現代中国語文法における重要な概念を理解し、説明することができる。

②現代中国語文法に関する問題点を発掘する力を身につける。

③関心のあるテーマについて学術的なレポートを作成する力を身につける。

6. Learning Goals (学修の到達目標)：①Students will understand the essential concepts in modern Mandarin Chinese linguistics and know how to explain them appropriately.

②Students will develop the ability to notice possible research questions about modern Mandarin Chinese.

③Students will acquire the ability to write an academic report on a particular topic which he/she concerns.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

第1回 ガイダンス

第2回 中国語の特徴

第3回 “的”の有無による用法の違い—精読(1)

第4回 “的”の有無による用法の違い—精読(2)

第5回 “的”の有無による用法の違い—分析(1)

第6回 “的”の有無による用法の違い—分析(2)

第7回 動詞性重複構造—精読(1)

第8回 動詞性重複構造—精読(2)

第9回 動詞性重複構造—分析(1)

第10回 動詞性重複構造—分析(2)

第11回 可能補語の意味分析—精読(1)

第12回 可能補語の意味分析—精読(2)

第13回 可能補語の意味分析—分析(1)

第14回 可能補語の意味分析—分析(2)

第15回 期末まとめ

8. 成績評価方法：

授業への取り組み、授業内発表：50%

期末レポート：50%

9. 教科書および参考書：

＜教科書＞プリント配布

＜参考書＞『文法講義』朱德熙 著、杉村博文・木村英樹 訳、白帝社、1995年

10. 授業時間外学習：予習：事前にテキストの指定箇所を読んだうえ、和訳を考え、さらに問題点を整理する。

復習：テキストや関連資料を読み返し、正確に理解できたかを確認する。興味関心のある文法現象について考える。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:“○”Indicates the practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

科目名：中国語文化論研究演習Ⅱ／

曜日・講時：後期 木曜日 2講時

セメスター：4 単位数：2

担当教員：張 佩茹

コード：LM24203 科目ナンバリング：LGH-PHI618J 使用言語：2カ国語以上

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：現代中国語文法研究

2. Course Title (授業題目)：Modern Mandarin Chinese Linguistics

3. 授業の目的と概要：中国語で書かれた現代中国語文法を扱った論文を精読し、中国語を読む能力と現代中国語に関する文法問題を考える能力の養成を目的とする。本年度は主にフレーズと意味の関係について論文を読み、理解を深める。また、論文に関連する文法現象のなかで、受講生が各自テーマを絞って発表し、最後にレポートとしてまとめる。全体を通して、現代中国語文法に関する知識を深め、基本的な研究手法を習得する。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：This course aims to improve students' ability in reading Chinese and approaching linguistic research questions about modern Mandarin Chinese. We will be reading journal articles on the relationship of phrase and meaning mainly this academic year. Also, students are required to find a certain topic related to the articles we read in class, prepare an oral presentation on this topic and write a report accordingly in the end of the semester. In the end of this course, students will gain knowledge about modern Chinese linguistics and learn how to apply basic research techniques when writing a report.

5. 学習の到達目標：①現代中国語文法における重要な概念を理解し、説明することができる。

②現代中国語文法に関する問題点を発掘する力を身につける。

③関心のあるテーマについて学術的なレポートを作成する力を身につける。

6. Learning Goals (学修の到達目標)：①Students will understand the essential concepts in modern Mandarin Chinese linguistics and know how to explain them appropriately.

②Students will develop the ability to notice possible research questions about modern Mandarin Chinese.

③Students will acquire the ability to write an academic report on a particular topic which he/she concerns.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

第1回 ガイダンス

第2回 前期の内容の復習

第3回 姿勢動詞—精読(1)

第4回 姿勢動詞—精読(2)

第5回 姿勢動詞—分析(1)

第6回 姿勢動詞—分析(2)

第7回 目的語の性質—精読(1)

第8回 目的語の性質—精読(2)

第9回 目的語の性質—分析(1)

第10回 目的語の性質—分析(2)

第11回 受身表現—精読(1)

第12回 受身表現—精読(2)

第13回 受身表現—分析(1)

第14回 受身表現—分析(2)

第15回 期末まとめ

8. 成績評価方法：

授業への取り組み、授業内発表：50%

期末レポート：50%

9. 教科書および参考書：

＜教科書＞プリント配布

＜参考書＞『文法講義』朱德熙 著、杉村博文・木村英樹 訳、白帝社、1995年

10. 授業時間外学習：予習：事前にテキストの指定箇所を読んだうえ、和訳を考え、さらに問題点を整理する。

復習：テキストや関連資料を読み返し、正確に理解できたかを確認する。興味関心のある文法現象について考える。

11. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

《実務・実践的授業/Practical business》

12. その他：なし